

FRPライニング防水工法とは

ボート・高架水槽・バスタブ・自動車等に広く採用されているFRP（Fiber Reinforced Plastics）の軽量かつ強度・耐水性・成形性等優れた特性を生かし、コンクリート・モルタル・木部等の表面を特殊ポリエステル樹脂とガラス繊維で被覆し、水や各種の外的要因による腐食から躯体又は建築物を保護するFRPライニング工法です。

キュートFPシステムの特長

信頼性の高い防水性能



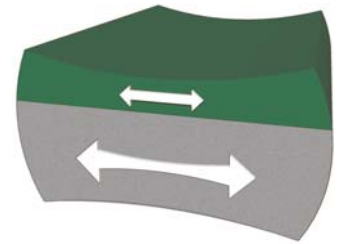
堅牢なシームレス防水層で信頼性が高い。

軽量で、耐久性に優れた防水層



歩行用の露出防水で防水層は軽量かつ優れた耐水性・耐久性を備えています。

密着性に優れ、下地の動きに追従



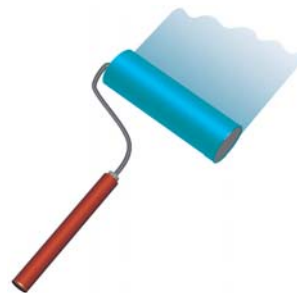
弾性ポリエステルを使用した防水層で、下地の動きに追従し、密着性にも優れています。

施工中の独特な臭気を低減



施工時のポリエステル樹脂特有の刺激臭を低減したポリエステル樹脂防水仕様です。

施工が容易で、特別な技能・工具等不要



ローラー等による簡単施工で特別な設備・装置を必要としません。

短工期



完了

他の防水工法に比べて工期が短く、しかも補修が容易です。

各種防水工法のデータ比較

防水工法名	FRP防水工法	ウレタン塗膜防水工法	シート防水工法	アスファルト防水工法	
素材	不飽和ポリエステル樹脂及びガラス繊維	ウレタンゴム系	合成高分子ルーフィング	アスファルト	
厚さ(mm)	2.5~3.5(中)	1.0~2.0(薄)	0.8~2.0(薄)	10~20(厚)	
重量(kg/m ²)	2.5~3.5(中)	1.0~2.0(軽)	1.5~3.0(中)	10~15(重)	
厚みの均一性	易・可能	難	易・可能	難	
物性	引張強度(MPa)	80~100	1~4	2~15	0.5~1
	伸び率(%)	2.0~3.0	300~800	200~800	1~3
	吸水率(%)	0.2~0.4	1~5	1~3	1~5
	耐候性	優	良	優	可
	下地コンクリートとの接着性(MPa)	2~3	1~2	0.5~2	0.5~1
施工方法	ローラー含浸容易	ローラー、コテ特殊技能	シート接着(接着剤)特殊技能	熱溶融、特殊機器特殊技能	
壁面・勾配の施工	容易	困難	容易	困難	
工期	短	長	短	中	

上記のデータ比較の通り、FRP防水工法は、他の防水工法に比べ性能、施工性、工期などの点で優れています。

参考文献：高分子防水